

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差				「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差						
学年	第3学年			学年	第1学年			第2学年		
年度	国語	数学	合計	年度	国語	数学	英語	国語	数学	GTEC
令和12年度の目標				令和12年度の目標						
令和11年度の目標				令和11年度の目標						
令和10年度の目標				令和10年度の目標						
令和9年度の目標				令和9年度の目標						
令和8年度の目標	+1	+1	+2	令和8年度の目標	+3	+3	+7	+3	+10	+8
令和7年度の結果	-2	-2	-4	令和7年度の結果	+0.4	-0.2	+3.8	+2.2	+9	+7.6
令和6年度の結果	-3	-3	-6	令和6年度の結果	+2.2	+2.7	+6.2	0	+5.7	+5.9
令和5年度の結果	-2	+1	-1	令和5年度の結果						

年度 内容	令和7年度	令和8年度	
	成果と課題	目標	目標達成に向けた取組
学校全体	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 探究的な学習を見据えた授業を展開した。 授業の最後5分間を振り返りの時間に設定した。 ICTを有効活用し、視覚的に認知し易い授業を展開した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査では東京都の平均正答率を超えることができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京都の平均正答率を超える。 	<ul style="list-style-type: none"> ミライシードなどのICTを有効活用し生徒の基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ると共に、授業内で探究的な学習を見据えることで、生徒が関心を持って学習に取り組むように促す。
第1学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語・数学で全国平均を上回ることができた。 三教科すべてでAB層の合計が50%を超えることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度と比較し、江戸川区学力調査で全国平均との差が小さくなってしまった、もしくは全国平均を下回ってしまった。 三教科すべてでD層が22%を超えており、上位層と下位層の差が大きくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> D層の割合を20%以下にし、下位層の底上げをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の定着を図るために、区の単元別数学検定において各単元の3級合格者を85%以上にする。 一単元につき、4回テストを実施するため、2回目終了時点で合格していない生徒は放課後に補習を行う。
第2学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学・英語でA層が38%を超えており、上位層が多く分布している。 D層の割合が、国語が17.6%、数学・英語が12.2%と比較的少なかった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語の知識・技能分野で全国平均を下回ってしまったので、基礎・基本的な知識技能の定着が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な知識技能の定着を図り、その結果知識・技能分野の正答率だけでなく、応用問題の正答率の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> EDOスクや長期休業中の補講を活用し、学習に苦手意識を持っている生徒に対して支援を行い、全体の底上げを図る。
第3学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度よりも都平均との差を縮めることができた。 全国の平均正答率を国語・数学ともに上回ることができた。 数学の全問正答者の割合が、全国・東京都よりも上回ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語・数学ともにC層の割合が全国・東京都よりも多く、平均正答率の低さにつながっている。 A層の割合が国語・数学ともに東京都を下回っており、上位層を伸ばすことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> C層の割合を減らすために、中間層以下の学習があまり得意ではない生徒の学習支援を行い、一方で中間層上位の生徒の学力を伸ばし上位層の割合を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 各月に行われる国数英テストを通して、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、C層の割合を減らすことにつなげる。 探究的な学習を取り入れることで、中間層の学習意欲を向上させ、上位層を増やすことにつなげる。